

事業報告書

(第4期)

(2024年8月1日～2025年7月31日)

一般財団法人犬猫生活福祉財団



I はじめに

一般財団法人犬猫生活福祉財団は、現代社会において犬及び猫をはじめとする動物が適切な福祉環境を享受できていない状況が多々存することに鑑み、関係団体、獣医師、飼主等と協働して、適切な福祉環境下でない動物の発生を防ぐ取り組みと、動物が適切な福祉環境下で飼育されることを促す取り組みを実施するとともに、人と動物の共生に関わる動物愛護、動物福祉、公衆衛生、社会福祉等の理念の普及とこれに沿う活動を行い、もって、動物の福祉の向上を図るとともに公衆衛生と人の福祉を増進し、人と動物とが持続的に共生できる社会の実現を図ることを目的として、2021 年 9 月 1 日に設立された。

当法人の第 4 期（自 2024 年 8 月 1 日至 2025 年 7 月 31 日）事業報告は以下のとおりである。

II 事業内容

- 今期は、以下の内容の事業活動等を行った。
- ① 動物の保護及び譲渡活動並びにこれらの活動を行う施設の設置運営に関する事業
 - ② 動物病院（スเปイククリニック）の運営に関する事業
 - ③ 動物の保護、譲渡活動、動物診療を行う団体等に関する支援、助成に関する事業
 - ④ 動物愛護とその福祉・保健衛生の知識、理念及び活動についての広報及び寄付促進に関する事業
 - ⑤ 適正な法人運営及び公益認定に関する準備及び申請

III 事業報告

- 1 動物の保護及び譲渡活動並びにこれらの活動を行う施設の設置運営に関する事業（定款第 4 条第 1 項第 1 号、同第 2 号）
- ① 前橋シェルター（犬猫タウン前橋）の運営
- 前橋シェルター（犬猫タウン前橋）の運営を継続して行った。人員体制としては当期末の時点で、獣医師は 1 名、看護師は 1 名が在籍しており、ドッグトレーナー 1 名と業務委託契約を締結している。
- 当期は、「前橋市保健所」「群馬県動物愛護センター」「高崎市動物愛護センター」「茨城県動物指導センター」の 4 施設と「多頭飼育崩壊の現場」から保護動物を引き出し、必要な医療処置等を施したのちに里親に譲渡する活動を行った。里親の募集は、公式ホームページ上や SNS を通じて情報を発信すると共に外部の里親募集の WEB サイトも積極的に活用することで認知の拡大に努めた。
- また、里親希望者がより気軽に保護動物に会える機会を提供するため、月に 3～4 回のペースで施設や里親募集中の保護動物の見学ができる会（譲渡会、オープンシェルター）を継続して実施した。
- 譲渡については仔猫や仔犬は順調な一方で、年齢の高い犬猫や猫エイズなどのウイルスキャリアを持つ猫の譲渡は申込みが入りづらく、そうした譲渡難易度の高い保護動物の譲渡促進が課題となった。
- 引き出し及び譲渡の実績は次のとおりである。

前橋シェルター

【引き出し数】

| | 8 月 | 9 月 | 10 月 | 11 月 | 12 月 | 1 月 | 2 月 | 3 月 | 4 月 | 5 月 | 6 月 | 7 月 | 合計 |
|---|-----|-----|------|------|------|-----|-----|-----|-----|-----|-----|-----|----|
| 犬 | 0 | 0 | 0 | 0 | 1 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 1 |
| 猫 | 8 | 5 | 6 | 2 | 3 | 0 | 0 | 0 | 16 | 6 | 9 | 9 | 64 |

【譲渡数】

| | 8 月 | 9 月 | 10 月 | 11 月 | 12 月 | 1 月 | 2 月 | 3 月 | 4 月 | 5 月 | 6 月 | 7 月 | 合計 |
|---|-----|-----|------|------|------|-----|-----|-----|-----|-----|-----|-----|----|
| 犬 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 1 | 0 | 1 | 0 | 2 |
| 猫 | 3 | 6 | 4 | 3 | 11 | 10 | 9 | 1 | 3 | 0 | 0 | 9 | 59 |

- 当期は、犬に対し応募者 8 件、譲渡頭数 2 頭（里親 2 名）、猫に対し応募者 80 件（選考中 5 件）、譲渡頭数 59 頭（里親 48 名）であった。
- ② 吉岡シェルター（犬猫タウン吉岡にゃんこシェルター）の運営
- 吉岡シェルター（犬猫タウン吉岡にゃんこシェルター）の運営を継続して行った。同シェルターにお

いては、猫のみを対象とし保護動物の引き出しを行った。当施設においては検疫室を持たないことから、検疫及び初期に必要な医療処置等については前橋シェルター及び預かりボランティアの家庭で実施し、その後吉岡シェルターにて飼育と里親の募集を行った。獣医師は前橋シェルターと兼任する形で健康管理を行った。

里親の募集は前橋シェルターと同様に主に個人を対象としてインターネットやSNSを通じて行った。
引き出し及び譲渡の実績は次のとおりである。

吉岡シェルター

【引き出し数】

| | 8月 | 9月 | 10月 | 11月 | 12月 | 1月 | 2月 | 3月 | 4月 | 5月 | 6月 | 7月 | 合計 |
|---|----|----|-----|-----|-----|----|----|----|----|----|----|----|----|
| 猫 | 6 | 4 | 1 | 3 | 2 | 1 | 2 | 1 | 1 | 5 | 11 | 0 | 37 |

【譲渡数】

| | 8月 | 9月 | 10月 | 11月 | 12月 | 1月 | 2月 | 3月 | 4月 | 5月 | 6月 | 7月 | 合計 |
|---|----|----|-----|-----|-----|----|----|----|----|----|----|----|----|
| 猫 | 2 | 2 | 1 | 5 | 1 | 3 | 6 | 4 | 0 | 0 | 1 | 2 | 27 |

当期は、応募者 24 件（選考中 2 件）、譲渡頭 27 頭（里親 26 名）であった。

③ 前橋シェルター及び吉岡シェルターのスタッフの育成

前橋シェルターにおいては、ドッグトレーナーに講師を依頼し、犬の行動学やトレーニング方法に関しての講習を有償スタッフ向けに 12 回、ボランティアスタッフ向けに 12 回開催した。

吉岡シェルターにおいては、猫の飼育方法や環境整備に関するマニュアルを活用するとともに、前橋病院での研修を実施し、スタッフへの指導・教育を行った。

④ 前橋市役所との連携

前橋市役所との連携と協力関係をより深め、同市のふるさと納税施策に 2024 年 11 月に参加した。

⑤ 寄付金収入

当期は、犬猫生活株式会社より合計 18,996,132 円の寄付を受けた。この寄付金は、同社が動物福祉の向上を目的とした活動支援金としてイベントの収益金、利益の 20%相当額を寄付いただいたものである。これらの寄付金は主に保護犬猫の飼育費用及びシェルター運営資金に充て有効活用している。なお、この寄付金のうち 18,197,831 円は翌期以降のシェルター事業の安定的な運営を見据えた資金として、計画的に活用する予定である。

2 動物病院（スペイクリック）の設置運営に関する事業（定款第 4 条第 1 項第 3 号）

スペイククリニック（犬猫タウン前橋病院）の運営を継続し、シェルター収容動物、及び主に飼い主のいない猫に対して不妊去勢手術を提供した。人員体制としては当期末の時点で、獣医師が 1 名在籍しており、その他獣医師 1 名と業務委託契約を締結している。

受診希望者の募集は、主に個人を対象として、インターネットや SNS を通じて行った。

診察室での不妊去勢手術を実施したほか、自動車を用いた出張不妊去勢手術も月に 1 ～ 2 回程度実施し、頭数が多いなどの理由で移動が困難であり、通常では手術の対応が難しい案件にも対応することができた。

群馬県内においては、当院以外にも不妊去勢手術専門の動物病院（スペイククリニック）の開業が進み、飼い主のいない猫に対する不妊去勢手術の需要に対し、供給は概ね充足している状況である。

一方で、群馬県の隣県においては依然として手術の供給が不足しているため、今後は隣接地域での認知度を高めるとともに、手術車の活用などを通じて積極的に手術機会を提供していくことが重要である。

当期の手術実績は以下のとおりである。

【不妊去勢手術数】

| | 8月 | 9月 | 10月 | 11月 | 12月 | 1月 | 2月 | 3月 | 4月 | 5月 | 6月 | 7月 | 合計 |
|--------|----|----|-----|-----|-----|----|----|----|----|----|----|----|-----|
| 不妊手術件数 | 24 | 27 | 42 | 44 | 30 | 41 | 26 | 22 | 38 | 62 | 32 | 41 | 429 |
| 去勢手術件数 | 22 | 17 | 31 | 28 | 30 | 16 | 15 | 19 | 37 | 26 | 19 | 28 | 288 |

3 動物の保護、譲渡活動、動物診療を行う団体等に関する支援、助成に関する事業（定款第4条第1項第4号）

① 助成金交付事業

動物の保護、譲渡活動、動物診療を行う法人又は団体に対する助成金の交付事業を行った。当年度は、寄付金収入の増加により助成金予算を200万円から300万円へ増額し、より幅広い支援を目的として、助成先を10団体から15団体に拡大した。当年度の実施内容は以下のとおりである。

- ・応募期間：2025年6月16日から6月30日
- ・募集方法：当法人のサイトにて募集
- ・申込団体数：35団体
- ・審査方法：審査委員会（助成金規程第7条第2項及び第3項、審査委員会規程）において、審査基準（助成金規程第6条）に基づき審査し、その審議を経た後、理事会の承認を得て助成金の交付を決定する。今期の審査委員会は、2025年7月14日に開催された。
- ・審査委員の構成は、以下のとおりである。
審査委員長：黛純太（株式会社neconote 代表取締役）
審査委員：井島七海（元 OMUSUBI 事業責任者）
長谷川諒（Ani-vet 代表／レイクタウンねこ診療所院長／獣医師）
- ・審査結果連絡日：2025年7月31日
- ・助成決定団体：15団体

【団体の名称・助成金額】

| 名 称 | 助成金額 |
|--------------------------------|----------|
| NP0 法人フリースクールゆきレオ&保護猫施設ゆきレオ保育園 | 200,000円 |
| よねっこはうす | 200,000円 |
| 保護猫カフェ拝啓ねこ様 | 200,000円 |
| もりねこ | 200,000円 |
| WASAO | 200,000円 |
| てんしんらんまん★ラッキー | 200,000円 |
| 特定非営利活動法人保護ねこピリカ | 200,000円 |
| 猫にゃんズ | 200,000円 |
| ねこひげハウス | 200,000円 |
| CAT'S INN TOKYO | 200,000円 |
| くすのき | 200,000円 |
| しあわせの種たち | 200,000円 |
| ゆがわらへそ天猫倶楽部 | 200,000円 |
| カフェキャリコ | 200,000円 |
| ねこの命をつなぐ会 | 200,000円 |

② ボランティア情報サイトの運営

動物の愛護活動を行う団体と同活動でのボランティア活動を希望する個人とを結び付けることを目的とした、ボランティアの募集状況等の情報を集約したWEBサイトを「犬猫ワークス」を2022年8月29日に開設した。

2025年7月31日時点の登録数は募集团体が35団体、ボランティア希望の個人が135人となっている。

4 動物愛護とその福祉・保健衛生の知識、理念及び活動についての広報及び寄付促進に関する事業（定款第4条第1項第7号）

① 前橋市における動物愛護・動物福祉に関するイベントの実施

2024年10月12日 群馬県庁にて群馬県健康福祉部食品・生活衛生課が主催した「Life with Pet〜ぐんまペット共生フェス〜2024」にブース出展をした。

前橋シェルター、吉岡シェルターにおいて、高校生や大学生の実習のためのインタビューや施設見学、インターンの受け入れに対応した。

- ・2024年8月26日～8月29日 つくば国際ペット専門学校施設見学、インターン生を受け入れ

② メディア掲載実績

以下の各メディアに当法人が掲載された。

新聞 2回 上毛新聞、東京新聞
雑誌・広報紙 2回 日経 WOMAN「猫と幸せに暮らすのリアル」、いぬのきもち
WEB 2回 上毛新聞、東京新聞

5 適正な法人運営及び公益認定に関する準備及び申請

① 会議に関する事項

以下のとおり、理事会及び評議員会を開催した。

【理事会】

| 日時 | 理事の現在数 監事の現在数 | 議決権を行使 した理事数 | 議決の結果等 |
|-----------------|------------------|-----------------|---|
| 2024 年 9 月 22 日 | 3 名 1 名 | 3 名 | 第 3 期事業報告書、計算書類及びこれらの 附属明細書並びに財産目録承認の件、評議 員会招集決定の件（すべて承認可決） |
| 2025 年 7 月 24 日 | 3 名 1 名 | 3 名 | 第 5 期収支予算書承認の件、第 5 期事業計 画書承認の件、助成金交付の承認の件、犬 猫生活株式会社との取引の承認の件、犬猫 生活株式会社からの寄付金受領の承認の 件、犬猫生活株式会社からの寄付受領に 関する方針承認の件（すべて承認可決） |

【評議員会】

| 日時 | 評議員の現在数 | 議決権を行使 した評議員数 | 議決の結果等 |
|---------------------------|---------|------------------|---------------------------------------|
| 2024 年 10 月 18 日 | 3 名 | 3 名 | 第 3 期計算書類及び財産目録承認の件（承 認可決） |
| 2025 年 4 月 28 日 （書面決議） | 3 名 | 3 名 | 役員及び評議員の報酬等並びに費用に 関する規程の改定の件（承認可決） |

② 役員の異動状況

前期より変更なし。

③ サポーター会員の募集

今期は、サポーター会員規程に基づき、サポーター会員を随時募集し、2025 年 7 月 31 日時点で会員数は 401 名となっている。

④ 内部諸規程に基づく運営及びコンプライアンスの確保

当法人の定款及び内部諸規程に沿った当法人の適正な運営に努め、かつ、コンプライアンスの確保に努めた。

以 上